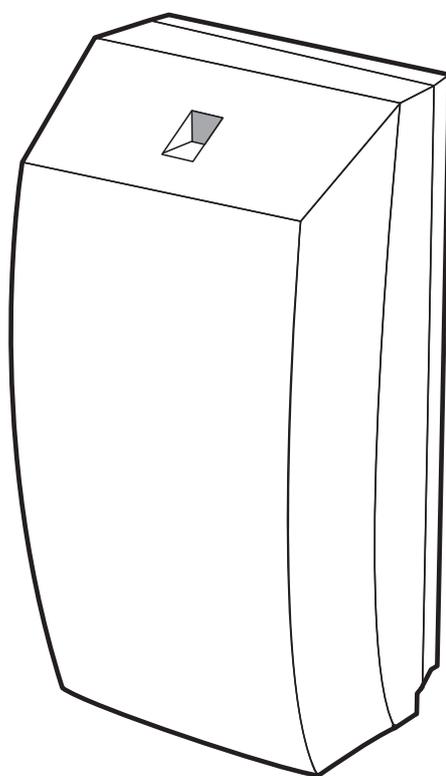


## 取扱説明書 (設定会社様向け)

**ES** コントローラー

型名：C1K-07UMM-A



このたびは ES コントローラーをお買い求めいただき、ありがとうございました。

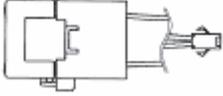
### 最初に

この取扱説明書に記載の「安全上のご注意」(P.6~9)をお読みください。  
本装置の取り扱い、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。  
取扱説明書は大切に保管してください。

# 付属品を確認する

□の中に、チェックマーク (✓) を付けてご確認ください。

欠品などお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

<p>□本体 / 1 台</p> 	<p>□CT センサ (クランプ型) φ16 / 2 個</p> 	<p>□CT センサ (貫通型) φ18 / 1 個</p> 
<p>□AC 電圧モニタ用ケーブル (2m) (CN1 ケーブル) / 1 個</p> 	<p>□2分割電流センサケーブル (2m) (CN2 ケーブル) / 1 個</p> 	<p>□電流センサケーブル (2m) (CN3 ケーブル) / 1 個</p> 
<p>□取り付け用丸木ネジ M4×30 / 4 個</p>  <p>※壁材に合ったネジをご使用ください。</p>	<p>□ケーブル押さえ金具 / 1 個</p> 	<p>□ケーブル押さえ金具用取付ネジ M3×8 / 3 個</p> 
<p>□据付説明書 (取付会社様向け) / 1 部</p> 	<p>□取扱説明書 (設定会社様向け) / 本書</p> 	<p>□取扱説明書 (お客様向け) 保証書 / 1 部</p> 
<p>□無線 LAN アダプタ / 2 個</p> 		

※ この他に、補足資料やご案内資料が同梱されている場合があります。

# 目次

<b>付属品を確認する</b> .....	<b>2</b>
<b>1. ご使用の前に</b> .....	<b>4</b>
この取扱説明書について .....	4
安全上のご注意～必ずお読みください .....	6
ご使用上の注意点 .....	10
<b>2. 作業の流れ</b> .....	<b>12</b>
<b>3. お使いになるための準備</b> .....	<b>13</b>
3.1 設定用パソコンの準備 .....	13
3.2 設定用パソコンのネットワーク設定の確認 .....	13
3.3 設定用パソコンと本装置を接続する .....	13
3.4 ネットワーク設定の変更方法 .....	14
3.5 Internet Explorer の設定 .....	17
<b>4. 現在の電力量を確認する</b> .....	<b>18</b>
<b>5. 設定ユーティリティを起動する</b> .....	<b>19</b>
<b>6. ログインする</b> .....	<b>20</b>
<b>7. 時刻を設定する</b> .....	<b>21</b>
<b>8. 有線 LAN でネットワーク接続する</b> .....	<b>22</b>
8.1 ネットワーク設定の変更 .....	22
<b>9. 無線 LAN でネットワーク接続する</b> .....	<b>25</b>
9.1 ネットワーク設定の変更 .....	25
<b>10. 本装置の情報を確認／変更する</b> .....	<b>29</b>
<b>11. 初期設定に戻す</b> .....	<b>31</b>
<b>12. ホームネットワークに接続ができない時に通信確認をおこなう</b> .....	<b>32</b>
12.1 デフォルトゲートウェイへの接続確認をおこなう .....	32
12.2 NTP サーバへの接続確認をおこなう .....	33
<b>13. LED の表示</b> .....	<b>33</b>
<b>14. 困ったときに</b> .....	<b>34</b>
14.1 ホームネットワークに接続できない .....	34
14.2 時刻が表示されない .....	34
14.3 本装置と設定用パソコンの接続方法がわからない .....	34

# 1. ご使用の前に

## この取扱説明書について

### 取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきましては、万全を尽くして製作しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。
- 本製品およびこの取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「本装置」とは「ES コントローラー」のことを表します。

### 免責事項（保証内容については保証書をご参照ください）

- 火災、地震、第三者\*1による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の取り付け、使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記録内容の損失等による直接的、間接的損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本装置は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本装置を使用し、本装置の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、当社は一切責任を負いません。

※1 ご購入者または、ご購入者から指定されたご使用者以外のかた

本装置は、クラス A 情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## この取扱説明書について・つづき

### ● 無線通信をお使いになる場合のお願い

本装置の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の放射を停止したうえ、「取扱説明書（お客様向け）」32ページ記載のマクセルサポートセンターへご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、本装置から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「取扱説明書（お客様向け）」32ページ記載のマクセルサポートセンターへお問い合わせください。

## 安全上のご注意～必ずお読みください

本装置および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

### ■ 表示の説明

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 <sup>*1</sup> を負う可能性が想定されている内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷 <sup>*2</sup> を負う可能性が想定される内容および物的損害 <sup>*3</sup> のみの発生が想定される内容を示しています。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさしています。

※3：物的損害とは、家屋・家財および畜産・ペット等にかかる拡大損害をさしています。

### ■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁 止	<b>禁止</b> （してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	<b>指示</b> する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	<b>注意</b> を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

## 安全上のご注意～必ずお読みください・つづき

 <b>警告</b>	
 指示	<p><b>■取り付け工事</b> 取り付け工事は、「据付説明書」に基づき実施してください。誤った取り付け、使用をすると火災、感電、故障の原因になります。</p>
 指示	<p><b>■取り付け工事で使用する部品・器具</b> 取り付け工事で使用する部品・器具は、必ず同梱品もしくは指定のものをご使用ください。当社指定外のものを使用すると火災、感電、故障の原因になります。</p>
 指示	<p><b>■電気配線工事</b> 電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」等に関連する法令・規制等に従って、「法的有資格者」が行ってください。接続・固定が不完全な場合、火災、感電、故障の原因になります。</p>
 指示	<p><b>■作業前の確認</b> 本装置を接続するブレーカがオフになっていることを確認してから作業してください。なお、太陽光発電システムを併せて設置されている場合、太陽光発電システムの接続箱内のすべての開閉器および太陽光発電システム専用ブレーカがオフになっていることを確認してから作業してください。オンの状態で作業した場合、火災、感電、故障の原因になります。</p>
 注意	<p><b>■煙、異常音、異臭</b> 万一異常が発生した場合は、すぐに本装置の接続されているブレーカをオフにし、お買い上げの販売店へ連絡してください。なお、太陽光発電システムを併せて設置されている場合、太陽光発電システムの接続箱内のすべての開閉器および太陽光発電システム専用ブレーカもオフにしてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。</p>
 分解禁止	<p><b>■修理・改造・分解</b> ケースカバーを取り外したり、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。点検はお買い上げの販売店へご依頼ください。</p>
 指示	<p><b>■落下などによる衝撃</b> 落下させたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに本装置の接続されているブレーカをオフにし、お買い上げの販売店へ連絡してください。なお、太陽光発電システムを併せて設置されている場合、太陽光発電システムの接続箱内のすべての開閉器および太陽光発電システム専用ブレーカもオフにしてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。</p>
 禁止	<p><b>■本装置内部への異物の混入</b> 通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。</p>
 禁止	<p><b>■本装置の近くにものを置く</b> 液体の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物、とがったもの、磁石、重量物など、装置の近くや上に物を置かないでください。装置内部に入ったり、誤動作や感電や発煙、発火の原因になります。</p>
 禁止	<p><b>■揮発性液体の近くでの使用</b> マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、本装置の近くで使わないでください。本装置の中に入って引火すると火災の原因になります。</p>

## 安全上のご注意～必ずお読みください・つづき



### ■設置場所について

- ・水のかかる場所に設置しないでください。水のかかる場所に置くと、火災の原因となります。
- ・極端に高温、低温になる場所に設置しないでください。直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
- ・油煙などの発生するところ、振動が継続する場所に設置しないでください。油煙などが発生する場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。
- ・本装置は腐食性ガス(特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど)や塩分を多量に含む空気が発生する場所に設置しないでください。腐食性ガスや塩分を多量に含む空気などは、本装置の表面を化学的に腐食させますので、電子部品の接触抵抗や可動部品の構造が脆くなり、装置信頼性が著しく低下します。
- ・引火性ガスなどが発生する場所に設置しないでください。引火性ガスなどが発生する場所に置くと、爆発、火災の原因となります。
- ・火災報知器や自動ドアなどの近くに設置しないでください。本装置からの電波により影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故等の原因となることがあります。
- ・本装置は、微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くで使用しないでください。本装置からの電波により、心臓ペースメーカーなどの誤動作の原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院など、無線の使用を制限された場所では使用しないでください。



禁止

### ■梱包用ポリ袋について

装置の梱包用ポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると、窒息するおそれがあります。



禁止

## 安全上のご注意～必ずお読みください・つづき


**注意**


注意

**■LAN ケーブルについて**

LAN ケーブルを接続するときは端子の向きを確認し、まっすぐ挿してください。向きや角度を確認せず無理やり挿そうとすると、ピンが折れたり、曲がったりします。そのまま使用すると、故障の原因となります。



禁止

**■各ケーブルについて**

装置のケーブルを引っ張らないでください。感電、故障の原因となります。



指示

**■アルミ電解コンデンサについて**

本装置には、アルミ電解コンデンサを使用しています。装置寿命を超えて使用すると電解液の漏れまたは枯渇により発煙・感電の原因となる場合があります（設計上の装置寿命5年）。



指示

**■静電気について**

本装置は精密機器です。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃がしておいてください。わずかな静電気も故障の原因となります。



指示

**■電波障害について**

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。



禁止

**■設置場所について**

- ・ 本装置を正常にお使いいただくためにはスピーカなど、強い磁気を発生する装置の近くへの設置はしないでください。
- ・ 周囲温度 0℃～40℃、湿度 10%～90%（結露なし）の環境以外では使用しないでください。
- ・ 本装置は屋内用です。屋外には設置しないでください。
- ・ AC100V,50/60Hz 以外の電源で使用しないでください。

# ご使用上の注意点

### ◆ 共通項目

- 本装置は計量法に基づく計量器ではありません。  
電力計測は、天候、システム環境、設置環境等により誤差を含みます。  
一般ご家庭の室温環境下（25℃前後）で 500W 以上の測定において、概ね±5%の範囲です。
- 本装置を使用している場所の近くで落雷が発生した場合、本装置やケーブルに触れないでください。ケーブルなどに触れると感電の原因となります。
- 本装置は精密な電子部品で製造されていますので、極端な衝撃を与えないでください。

### ◆ 設置環境について

- 建物の構造（RC、鉄骨、断熱材のアルミシートなど）等の影響で本装置と ES モニター間の無線電波状況が悪くなる場合があります。電波状況によっては、有線 LAN の敷設が必要です。  
**本装置を隠れた場所（屋根裏等）に設置しないでください。**設置されている場所によっては、保守時の作業が困難になる場合があります。また、温度異常や湿度異常により故障の原因になる場合があります。
- 本装置を無線 LAN 通信で利用する場合は、本装置を金属製の収納ボックス内に設置しないでください。電波状況が悪くなり、通信が途切れる場合があります。
- 本装置と ES モニターが無線で直接通信できる距離の目安は**見通しの良いところで 10～15m**が目安です。また、設置環境によって異なります。
- ES モニターのメイン画面の（消費、売電、買電）の数値がふらついて見えることがあります。温水洗浄機能付きトイレ便座、電気ポット、冷蔵庫、エアコン等は消費電力が大きく変動するためです。
- 本装置と ES モニターの電波状況が悪い場合、数値とグラフのデータが正しく表示できない場合があります。電波状況が良くなるとデータは正常に戻りますので、ES モニターを電波状況の良い場所へ移動してください。
- 本装置と ES モニターの電波状況が良くない場合、ES モニターのボタン操作が利き難くなる場合があります。電波状況が良くなると正常にボタン操作できるため、ES モニターを電波状況の良い場所へ移動してください。接続状態は、画面で確認することができます。
- 本装置と ES モニターが無線アクセスポイント経由で接続されている場合、それぞれの電波状況が悪いと数値とグラフのデータが正しく表示できない場合があります。  
電波状況が良くなるとデータは正常に戻りますので、本装置または ES モニターの設置場所を見直してください。
- 本装置と ES モニターが無線アクセスポイント経由で接続されている場合、それぞれの電波状況が悪いと、ES モニターのボタン操作が利き難くなる場合があります。電波状況が良くなると正常にボタン操作できるため、本装置または ES モニターの設置場所を見直してください。接続状態は、ES モニターの画面で確認することができます。
- LAN ケーブルにて ES モニター、またはルータ等と接続する場合、屋外配線は外来ノイズ（雷など）の影響を非常に受けやすく、異常動作もしくは故障の原因になるのでおやめください。

## ご使用上の注意点・つづき

### ◆ 無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して ES モニターや無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
- 不正に侵入される

無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。ルータおよび無線アクセスポイントのセキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い求め先の販売店までご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用されることをお奨めします。

- 本装置に内蔵されているソフトウェアの解析(逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど)、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

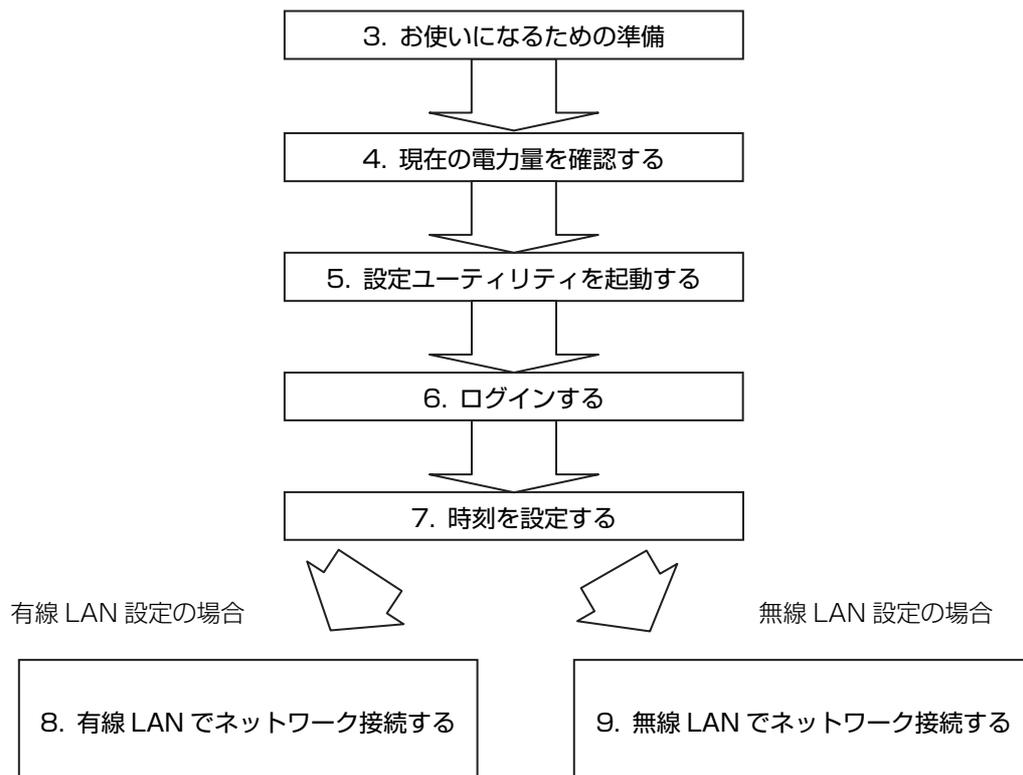
### 【廃棄される場合の注意事項】

本装置は、お客様のデータを保存可能な製品です。本装置内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本装置を廃棄、譲渡などされる際には、本装置の SD カードに保持されたデータの消去をお願いします。SD カードは本装置内部に入っています。詳細は据付説明書をお読みください。

## 2. 作業の流れ

本書では、本装置の各種設定を変更する作業を章立てで説明しています。各章での作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

※ 本設定は ES モニターからも設定できます。その場合は、ES モニターのマニュアルに従って設定を行ってください。



ここまでの作業で端末のネットワーク設定の変更は完了します。  
以降の章は、必要に応じてお読みください。

10. 本装置の情報を確認/変更する

11. 初期設定に戻す

12. ホームネットワークに接続ができない時

13. LED の表示

14. 困ったときに

## 3. お使いになるための準備

### 3.1 設定用パソコンの準備

設定ユーティリティにて本装置の設定変更をおこなうために、次の条件を満たすパソコンをご用意ください。

- Windows Vista、Windows 7 (32bit/64bit)、Windows 8、Windows 8.1 のいずれか
- 有線の LAN ポートが装備されている
- TCP/IP が組み込まれている
- Microsoft Internet Explorer 7.0 以降がインストールされている

### 3.2 設定用パソコンのネットワーク設定の確認

あらかじめ、本装置に設定されている IP アドレス、サブネットマスクを確認してください。

設定用パソコンのネットワーク設定を本装置の設定に合わせる必要があります。

工場出荷時は、IP アドレスが「192.168.249.100」、サブネットマスクが「255.255.255.0」に設定されています。

例えば、本装置の IP アドレスが「192.168.249.100」、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合には、設定用パソコンのネットワーク設定は次のようになります。

- IP アドレス：192.168.249.1 ~ 192.168.249.254 の範囲  
(ただし、本装置の IP アドレス：192.168.249.100 を除く)
- サブネットマスク：255.255.255.0

※ ネットワーク設定および、Internet Explorer の設定を変更する前に、現在の設定内容 (IP アドレス、サブネットマスク、プロキシサーバーの有無) を記録してください。

本装置の設定変更が完了した際に、設定用パソコンの状態を元に戻すために使用します。

### 3.3 設定用パソコンと本装置を接続する

設定用パソコンと本装置を LAN ケーブルでつなぎます。LAN ケーブルは、事前にご準備ください。

本装置の LAN コネクタに既に LAN ケーブルが装着されている場合は、その LAN ケーブルを抜いて、設定用パソコンと本装置を LAN ケーブルでつなぎます。

本装置の接続されたブレーカをオンにします。

※ 既に LAN ケーブルが装着されていた場合、ネットワーク設定について必ずお客様からヒアリングしたうえで、設定用パソコンのネットワーク設定を行ってください。

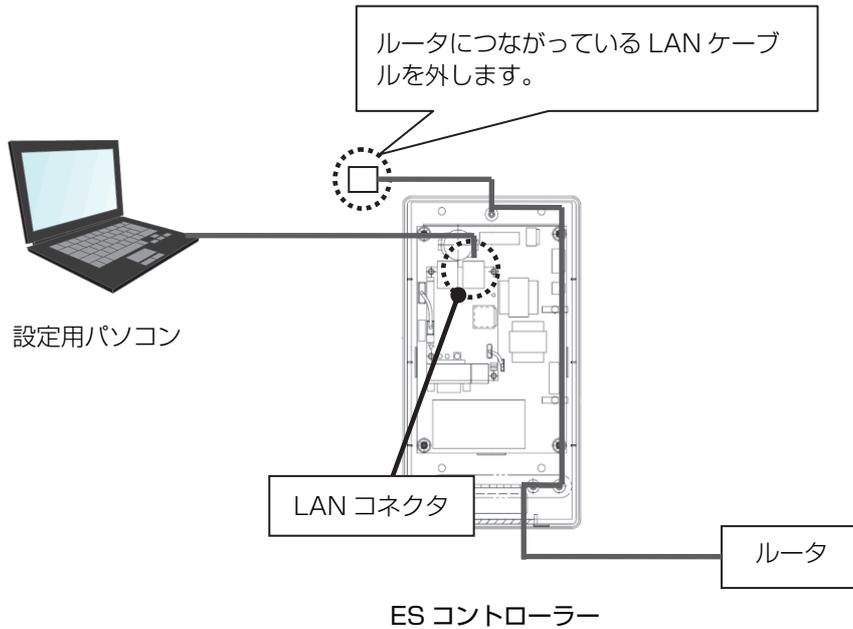
ネットワーク設定については事前にお客様からヒアリングし、「エナジーステーション 現地調査チェックシート」を記入してください。

#### 注意

##### ■ LAN ケーブルについて

LAN ケーブルを接続するときは端子の向きを確認し、まっすぐ挿してください。向きや角度を確認せず無理やり挿そうとすると、ピンが折れたり、曲がったりします。そのまま使用すると、故障の原因となります。

### 3. お使いになるための準備

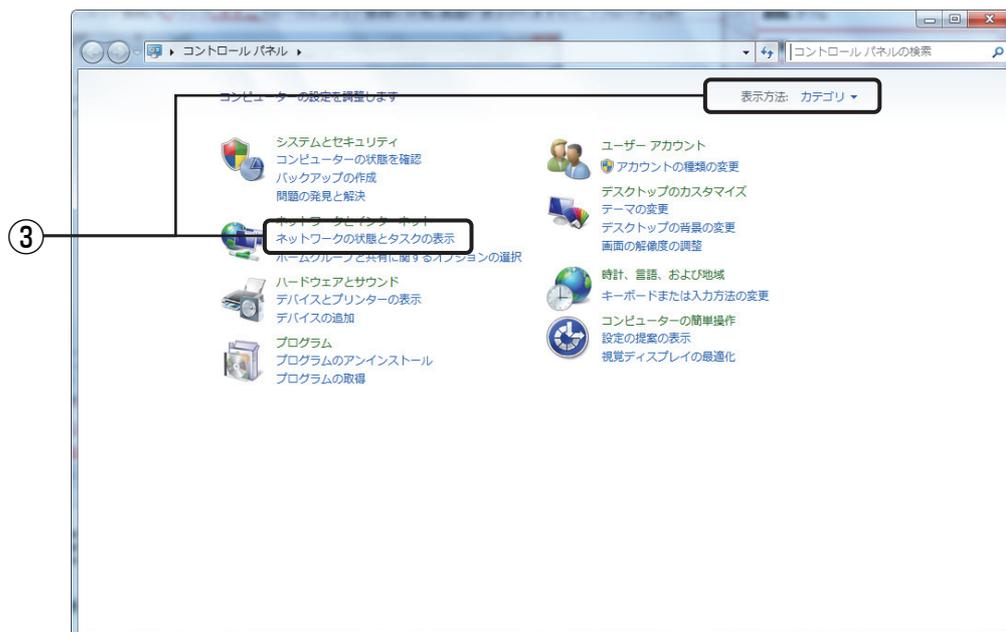


## 3.4 ネットワーク設定の変更方法

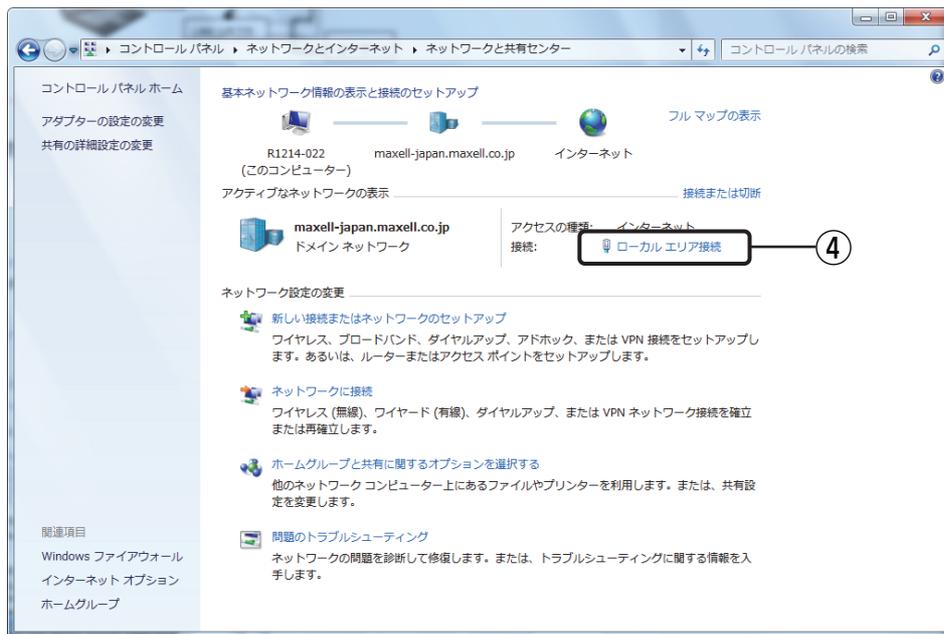
説明画面は Windows 7 の例を示します。

例として、IP アドレス：192.168.249.101、サブネットマスク：255.255.255.0 を設定します。

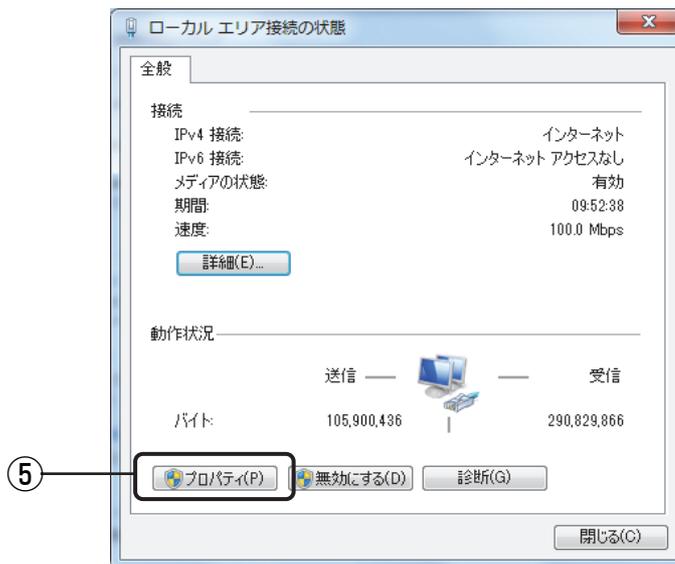
- ① 「コンピュータの管理者」や「Administrator」、または同等の権限を持つユーザ名で設定用パソコンにログインしてください。
- ② [スタート]—[コントロールパネル]をクリックし「コントロールパネル」ウィンドウを表示します。



- ③ 「表示方法：カテゴリ」で[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

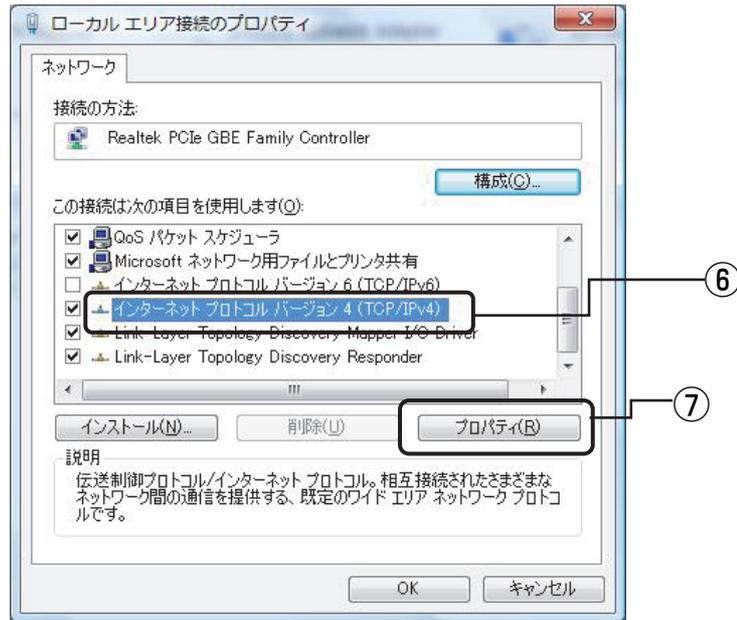


④ [ローカル エリア接続]をクリックします。

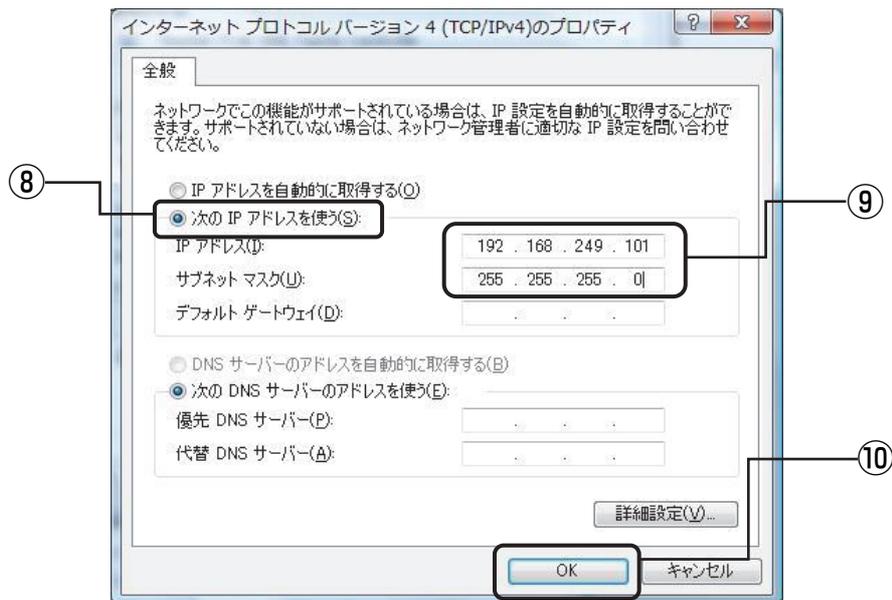


⑤ 「ローカルエリア接続の状態」画面が表示されますので、[プロパティ]ボタンを押し、次頁「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を表示します。

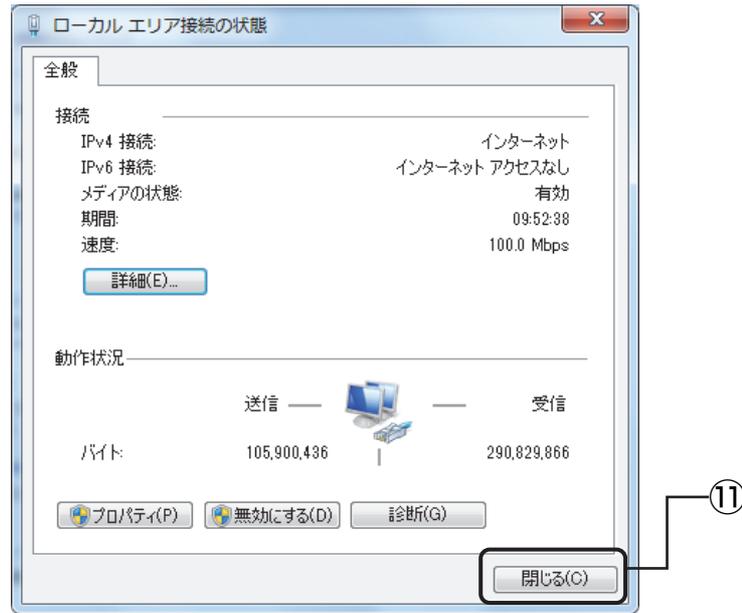
### 3. お使いになるための準備



- ⑥ [インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] をクリックします。
- ⑦ [プロパティ] を押し、下図「インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面を表示します。



- ⑧ [次の IP アドレスを使う] を選択します。
- ⑨ 「IP アドレス」として「192.168.249.101」を、「サブネットマスク」として「255.255.255.0」を入力します。
- ⑩ [OK] を押します。「ローカル エリア接続のプロパティ」画面に戻りますので、[OK] を押します。



- ⑪ [閉じる]を押して「ローカル エリア接続のプロパティ」画面を閉じます。

## 3.5 Internet Explorer の設定

本装置の各種設定は Internet Explorer を使っておこないます。以下の手順に従い Internet Explorer の「LAN の設定」をおこなってください。

- ① メニューバーまたはコマンドバー※1 から「ツール」をクリックし、「インターネットオプション」を選択します。
- ② 「インターネットオプション」画面が表示されますので、[接続]タブをクリックします。
- ③ 画面右下の、[LAN の設定]ボタンを押します。
- ④ 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」画面が表示されますので、「プロキシサーバー」の[LAN にプロキシサーバーを使用する]のチェックが入っている場合はチェックを外し、[OK]を押します。
- ⑤ 「インターネットオプション」画面に戻りますので、[OK]を押します。

※1 「コントロールパネル」から「インターネットオプション」画面を表示する方法もあります。

# 4. 現在の電力量を確認する

現在の発電力、買電力、売電力を閲覧する方法を説明します。

- ① 設定用パソコンで Web ブラウザ Internet Explorer を起動します。
- ② ブラウザのアドレスバーに以下の URL を入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

http://本装置の IP アドレス/monitor.cgi

※ 「本装置の IP アドレス」 は、それぞれの本装置の IP アドレスに置き替えてください。

※ 「本装置の IP アドレス」 の工場出荷時の初期値は、 " 192.168.249.100 " です。

<URL 入力例>本装置の IP アドレスが “192.168.249.100” の場合



- ③ 現在の発電、買電、売電のそれぞれについて、現在の電力が表示されます。



## 5. 設定ユーティリティを起動する

ここでは、Web ブラウザで設定ユーティリティを開く方法を説明します。

- ① 設定用パソコンで Web ブラウザ Internet Explorer を起動します。
- ② ブラウザのアドレスバーに以下の URL を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

http://本装置の IP アドレス/maintain.cgi

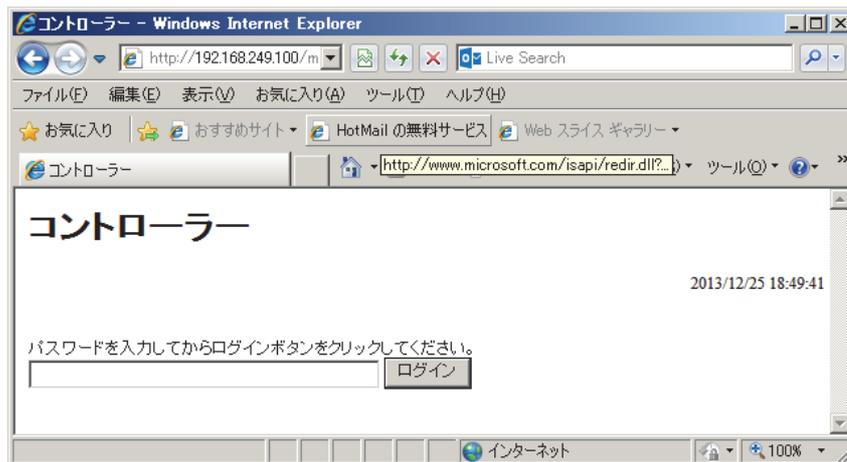
※ 「本装置の IP アドレス」は、それぞれの本装置の IP アドレスへ置き替えてください。

※ 「本装置の IP アドレス」の工場出荷時の初期値は " 192.168.249.100 " です。

<URL 入力例>本装置の IP アドレスが “192.168.249.100” の場合



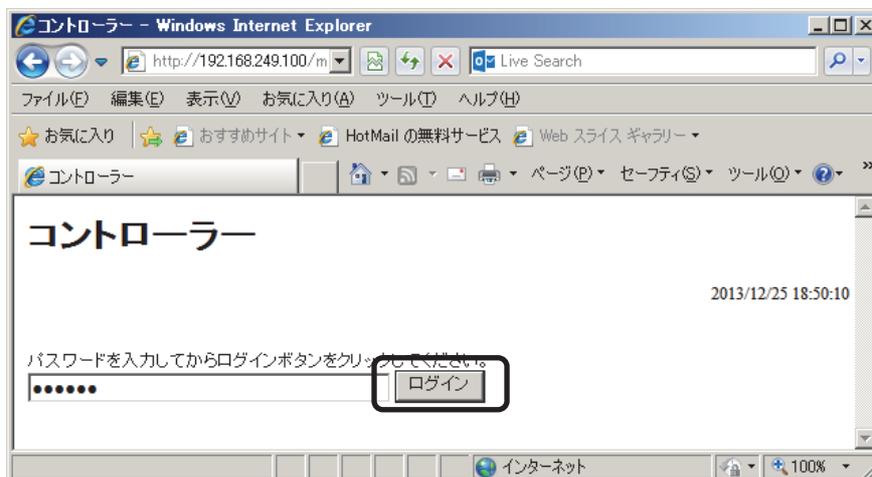
- ③ 以下のパスワード入力画面が表示されます。



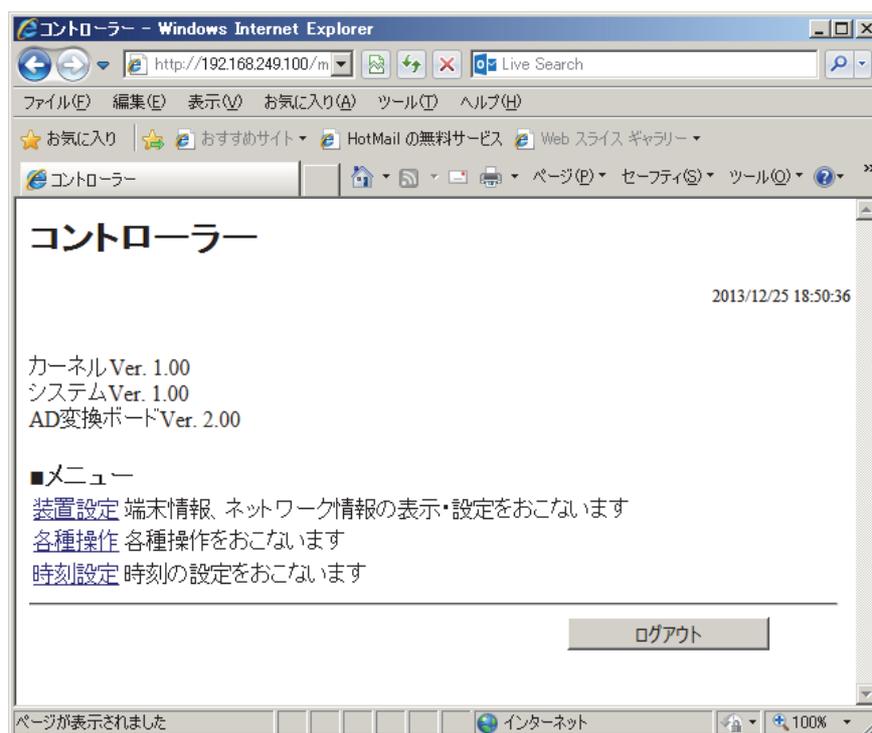
<パスワード入力画面>

## 6. ログインする

- ① パスワード入力画面にて、ログインパスワードを入力します。  
※ ログインパスワードの初期値は、 **userpw** です。



- ② [ログイン]ボタンを押して、メニュー画面へログインします。

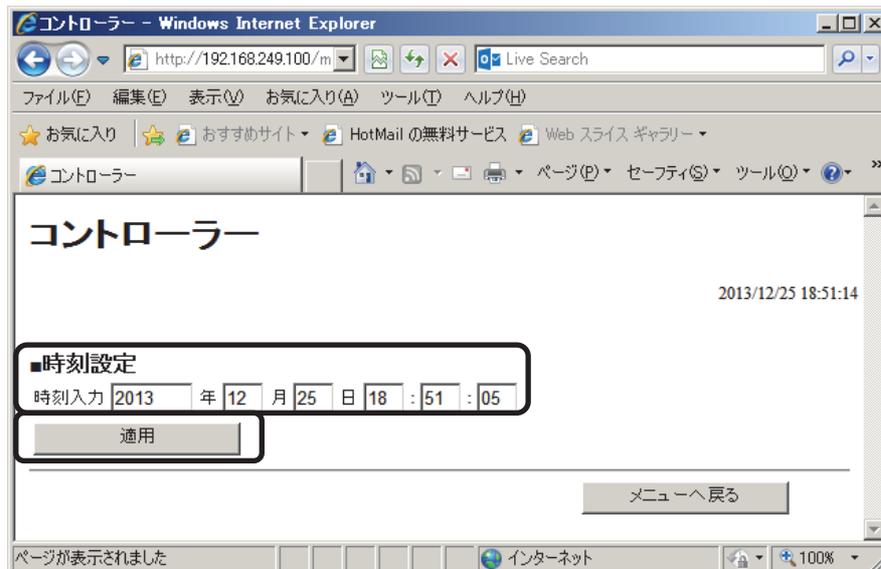


## 7. 時刻を設定する

本装置の時刻を変更します。

メニュー画面から[時刻設定]リンクをクリックして時刻設定画面を表示してください。

- ① [年][月][日]および[時][分][秒]を入力し、[適用]ボタンを押します。
- ② 「時計設定をおこないますか?」と表示されますので、[OK]ボタンを押します。



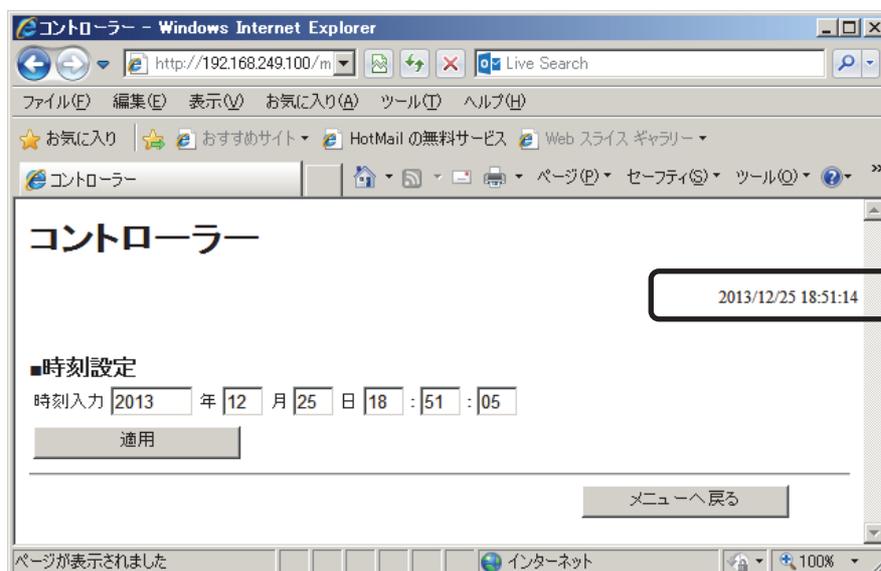
<時刻設定画面>

※ ES コントローラーの時計精度は月差最大±7.5分です。

※ 日時設定は正しく入力してください。

誤って未来の日時を設定して後日正しい日時に再設定した場合には、その期間の履歴データは ES モニターで見られなくなりますのでご注意ください。

- ③ 画面右上の時計が変更されたことを確認してください。



## 8. 有線 LAN でネットワーク接続する

ここでは、本装置の有線 LAN 設定を固定 IP アドレスに設定する方法を例として説明します。

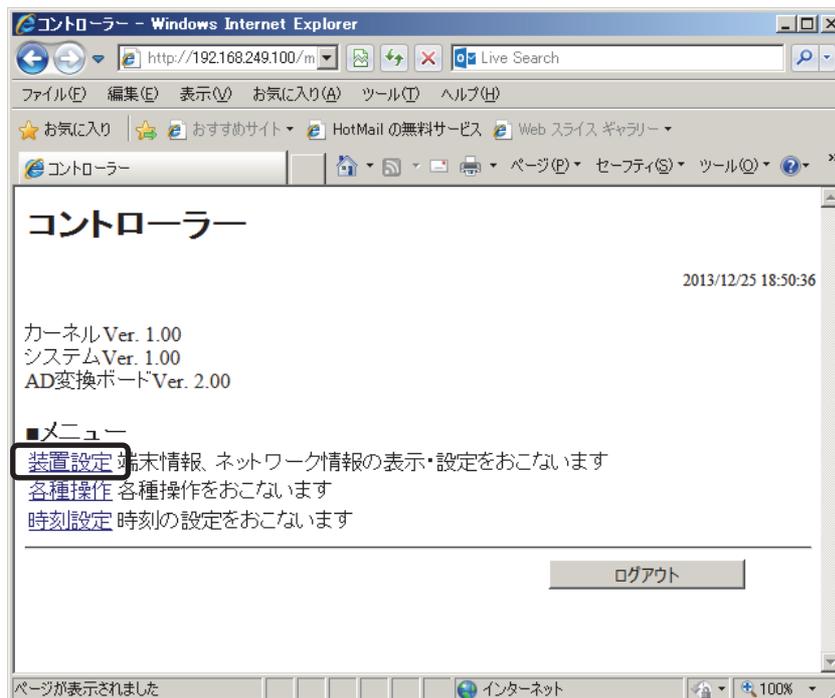
有線 LAN 設定の設定項目：

設定項目	IP アドレスを自動取得する(DHCP)	固定 IP アドレスを使う
IP アドレス	入力不要	入力必須
サブネットマスク	入力不要	入力必須
デフォルトゲートウェイ	入力不要	入力必須
DNS サーバーアドレス 1	入力不要	入力必須
DNS サーバーアドレス 2	入力不要	必要に応じて入力してください

- ※ ネットワーク設定については事前にお客様からヒアリングし、「エナジーステーション 現地調査チェックシート」を記入してください。
- ※ 有線 LAN の IP アドレスに「192.168.248.xxx」は使用しないでください。
- ※ 有線 LAN を使用する場合、無線 LAN の設定は無効となります。

### 8.1 ネットワーク設定の変更

- ① メニュー画面から、[装置設定]リンクをクリックして装置設定画面を表示します。



- ② 「有線 LAN 設定」項目に、現在の有線 LAN 設定が表示されています。



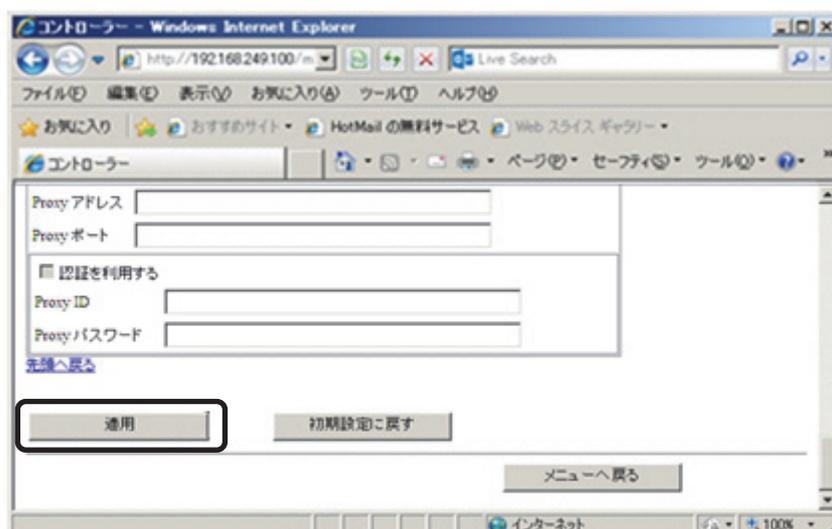
<有線 LAN 設定>

- ③ 「有線 LAN 設定」の各項目を以下のとおり変更します。

(設定例)

項目名	内容
有線 LAN を使う ラジオボタン	チェックします。 この場合、無線 LAN 設定は無効となります。
DHCP/固定 IP 選択	固定 IP アドレスを使う場合は[固定 IP アドレスを使う]にチェックをします。
IP アドレス	192.168.10.XXX
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.YYY
DNS サーバーアドレス 1	192.168.10.YYY
DNS サーバーアドレス 2	空白

- ④ 入力した内容でよろしければ画面下部の [適用] ボタンを押します。



## 8. 有線 LAN でネットワーク接続する

- ⑤ 「設定変更してよろしいですか？」と表示されますので、[OK]ボタンを押します。  
設定を有効とするために、本装置の再起動が開始されます。
- ⑥ 本装置と設定用パソコンを LAN ケーブルで直接つないでいる場合は、再起動完了後に設定用パソコンにつながっている LAN ケーブルを外し、ルータにつながえてください。  
また、「3. お使いになるための準備」で実施した設定用パソコンのネットワーク設定、および Internet Explorer の設定を元に戻します。

### 注意

再起動中は絶対にブレーカをオフにしたり、ES コントローラーの電源をオフにしないでください。

(再起動には約4分間かかります。)

## 9. 無線 LAN でネットワーク接続する

ここでは、本装置の無線 LAN 設定を固定 IP アドレスに設定する方法を例として説明します。

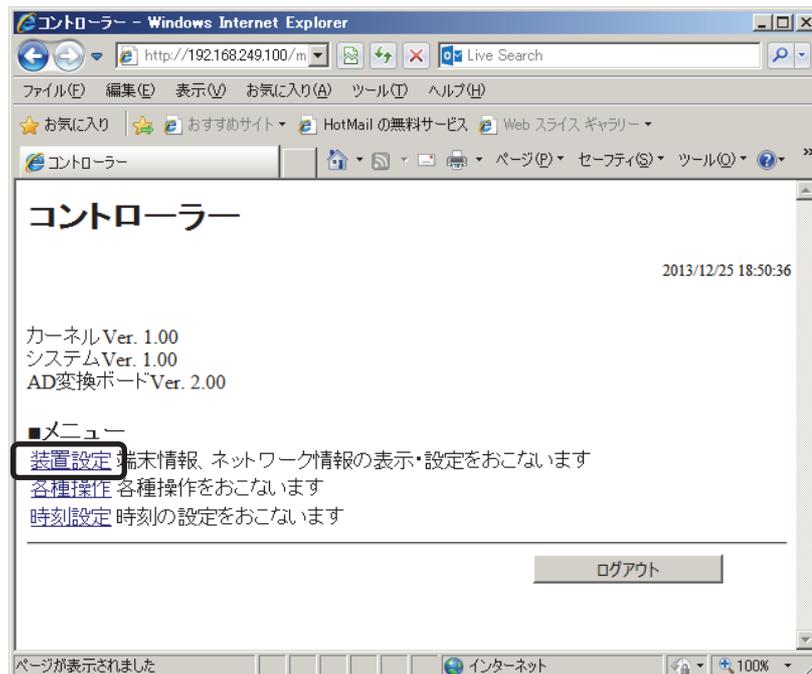
無線 LAN 設定の設定項目：

設定項目	IP アドレスを自動取得する(DHCP)	固定 IP アドレスを使う
IP アドレス	入力不要	入力必須
サブネットマスク	入力不要	入力必須
デフォルトゲートウェイ	入力不要	入力必須
DNS サーバーアドレス 1	入力不要	入力必須
DNS サーバーアドレス 2	入力不要	必要に応じて入力してください。
SSID	入力必須	入力必須
認証方式	選択必須	選択必須
暗号化方式	選択必須	選択必須
暗号キー	入力必須	入力必須

- ※ ネットワーク設定については事前にお客様からヒアリングし、「エナジーステーション 現地調査チェックシート」を記入してください。
- ※ 無線 LAN の IP アドレスに「192.168.249.xxx」は使用しないでください。
- ※ 無線 LAN を使用する場合、有線 LAN の設定は自動的に以下の設定となります。  
 IP アドレス：192.168.249.100  
 サブネットマスク：255.255.255.0  
 デフォルトゲートウェイ：なし  
 DNS サーバー：なし
- ※ ES コントローラーには、無線 LAN アダプタが2つ挿してあることを確認してください。

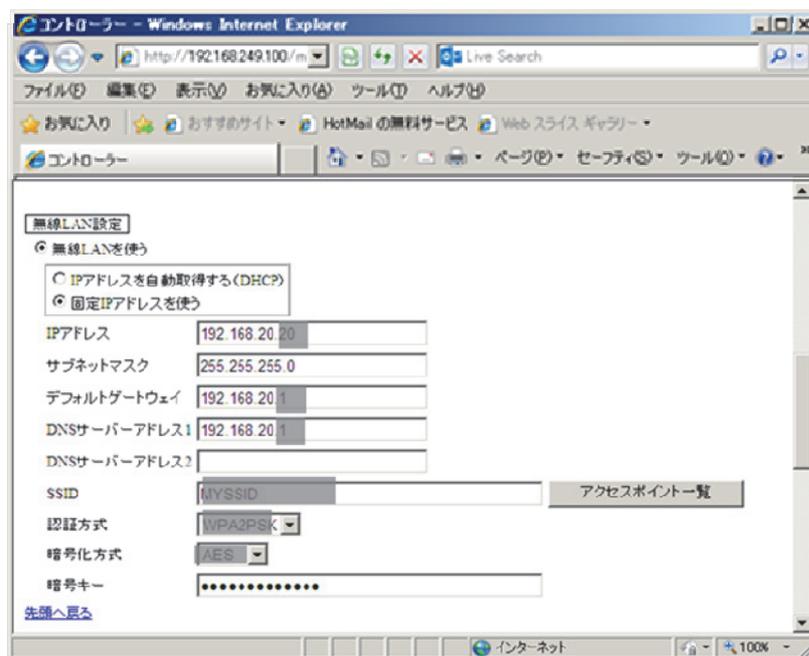
### 9.1 ネットワーク設定の変更

- ① メニュー画面から、[装置設定]リンクをクリックして装置設定画面を表示します。



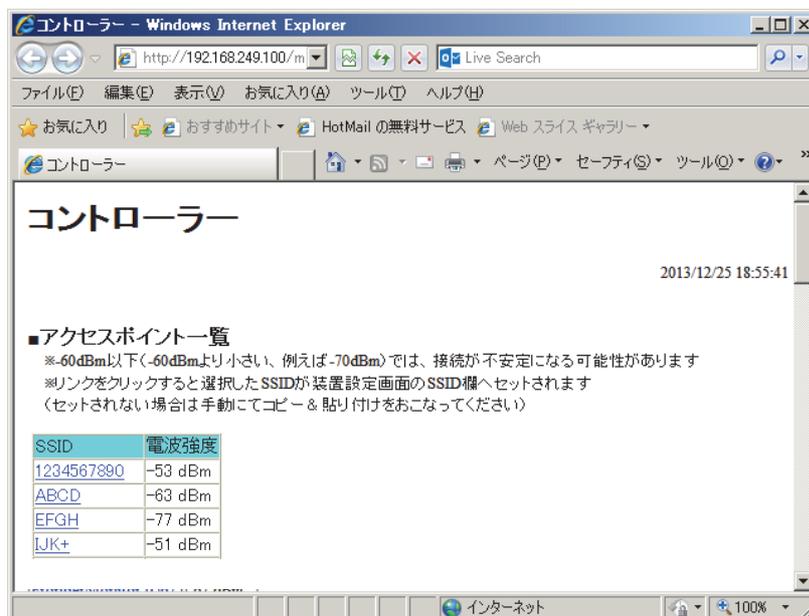
## 9. 無線 LAN でネットワーク接続する

「無線 LAN 設定」項目に現在の無線 LAN 設定が表示されています。



<無線 LAN 設定>

- ② アクセスポイントを検索します。  
利用可能なアクセスポイントを検索することができます。  
[アクセスポイント一覧]ボタンを押すと、アクセスポイント一覧画面がポップアップ表示されます。
- ③ SSID および電波強度を確認することができます。



<アクセスポイント一覧>

- ④ 一覧から目的の SSID のリンクをクリックすると、装置設定画面の SSID 欄へ SSID がセットされます。正常にセットされたか「無線 LAN 設定」項目の画面で確認してください。
- ※ セットされない場合、マウスで一覧上の目的の SSID を選択して、[マウス右クリック]–[コピー]を選択した後、装置設定画面の SSID 欄にて、[マウス右クリック]–[貼り付け]を選択して、手動で SSID をセットします。
  - ※ 電波強度が弱い場合は、正常に接続できない場合がありますので、アクセスポイントの位置を近づける等、電波強度が強くなるようにしてください。電波強度は−60dBm 以上になるように設置してください。
  - ※ 目的の SSID が表示されない場合は、装置設定画面の SSID 欄に直接入力してください。
- ⑤ 「無線 LAN 設定」の各項目を以下のとおり変更します。

(設定例)

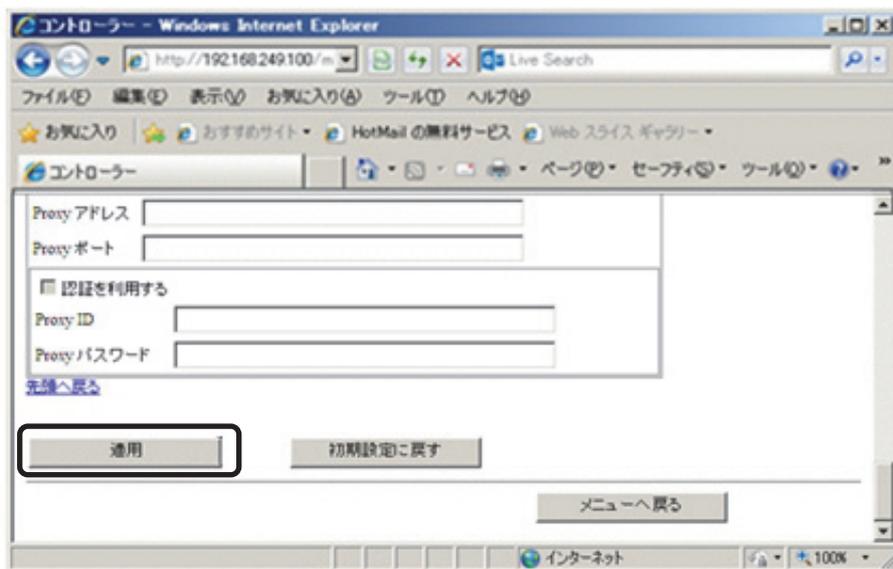
項目名	内容
無線 LAN を使う ラジオボタン	チェックします。 この場合、有線 LAN 設定は入力不可となり、自動的に固定 IP アドレスとなります。
DHCP/固定 IP 選択	固定 IP アドレスを使う場合は[固定 IP アドレスを使う]にチェックをします。
IP アドレス	192.168.20.XXX
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.20.YYY
DNS サーバーアドレス 1	192.168.20.YYY
DNS サーバーアドレス 2	空白
SSID	アクセスポイントの SSID を入力します。
認証方式	アクセスポイントの認証方式を選択します。
暗号化方式	アクセスポイントの暗号化方式を選択します。
暗号キー	アクセスポイントの暗号キーを入力します

認証方式および暗号化方式は以下の組み合わせが設定可能です。

No.	認証方式	暗号化方式
1	OPEN	NONE
2		WEP
3	SHARED	WEP
4	WPAPSK	AES
5		TKIP
6	WPA2PSK	AES
7		TKIP

## 9. 無線 LAN でネットワーク接続する

- ⑥ 入力した内容でよろしければ画面下部の[適用]ボタンを押します。



- ⑦ 「設定変更してよろしいですか？」と表示されますので、[OK]ボタンを押します。  
設定を有効とするために、本装置の再起動が開始されます。

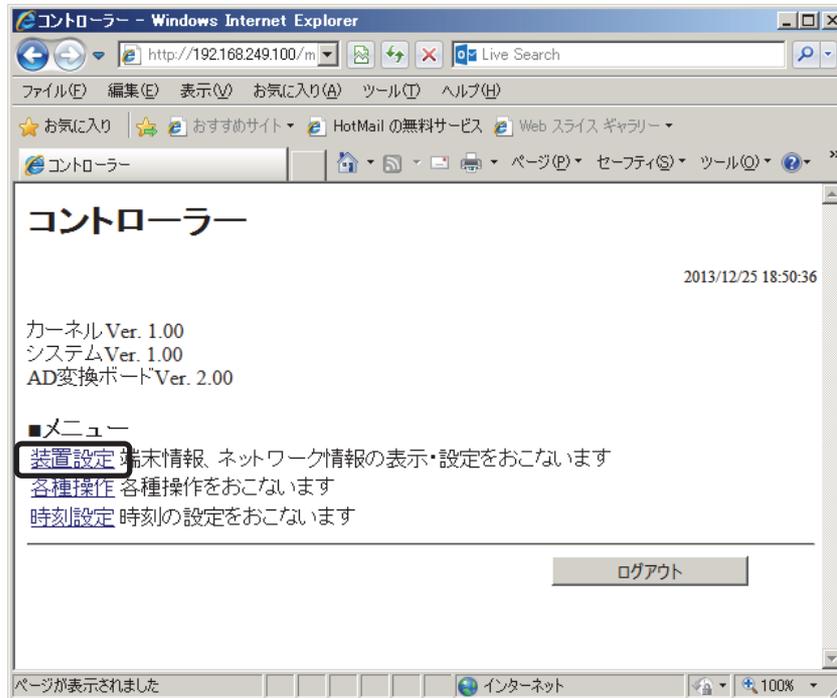
### ⚠ 注意

再起動中は絶対にブレーカをオフにしたり、ES コントローラーの電源をオフにしないでください。(再起動には約4分間かかります。)

# 10. 本装置の情報を確認／変更する

本装置固有の情報の確認／変更は装置設定画面にておこないます。

- ① メニュー画面から[装置設定]リンクをクリックして、装置設定画面を表示します。



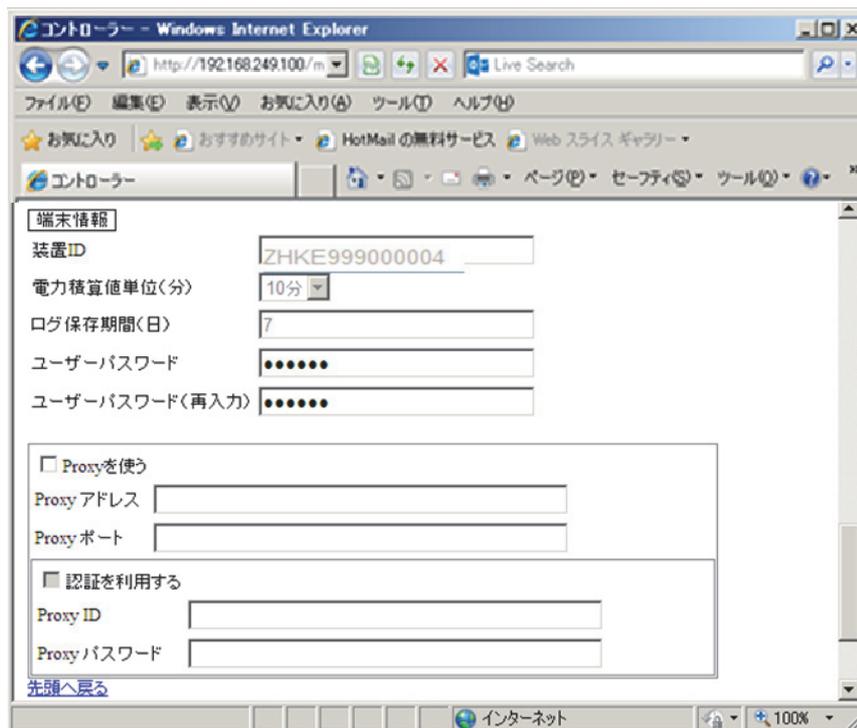
- ② 「端末情報」項目に現在の本装置固有情報が表示されます。  
端末情報を変更する場合は、各項目の内容を変更してから、画面下部の[適用]ボタンを押します。

## ⚠ 注意

適用ボタンを押すと本装置が再起動します。再起動中は絶対にブレーカをオフにしたり、ESコントローラーの電源をオフにしないでください。(再起動には約4分間かかります。)

## 10. 本装置の情報を確認／変更する

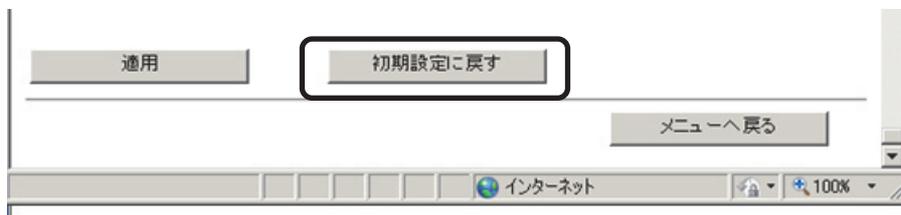
項目名	内容
装置 ID	本装置を識別するための ID です。(この項目は変更できません)
電力積算値単位 (分)	未使用 (この項目は変更できません)
ログ保存期間 (日)	ここで指定した日数分のログデータを本装置内部に保持します。 (この項目は変更できません)
ユーザーパスワード	設定ユーティリティのログインパスワードを変更できます。 注意! : パスワードを変更した場合は、変更したパスワードを忘れないようにしてください。
ユーザーパスワード (再入力)	確認のために、ユーザーパスワードと同じ内容を入力してください。
Proxy アドレス	プロキシサーバのアドレスです。 「Proxy を使う」チェックボックスをチェックした状態でのみ、設定可能です。
Proxy ポート	プロキシサーバのポート番号です。 「Proxy を使う」チェックボックスをチェックした状態でのみ、設定可能です。
Proxy ID	プロキシサーバで認証が必要な場合の、プロキシ認証 ID です。 「Proxy を使う」、および、「認証を利用する」チェックボックスをチェックした状態でのみ、設定可能です。
Proxy パスワード	プロキシサーバで認証が必要な場合の、プロキシ認証パスワードです。 「Proxy を使う」、および、「認証を利用する」チェックボックスをチェックした状態でのみ、設定可能です。



<端末情報>

# 11. 初期設定に戻す

- ① メニュー画面から[装置設定]リンクをクリックして、装置設定画面を表示します。
- ② 設定を工場出荷時の初期状態に戻す場合は、画面下部の[初期設定に戻す]ボタンを押します。



- ③ 初期設定値が装置設定画面上へセットされます。  
工場出荷時の初期設定値は以下のとおりです。

項目名		初期値
有線 LAN 設定	有線 LAN を使う	チェックあり
	DHCP/固定 IP 選択	固定 IP
	IP アドレス	192.168.249.100
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.249.254
	DNS サーバーアドレス 1	(空白)
	DNS サーバーアドレス 2	(空白)
無線 LAN 設定	無線 LAN を使う	チェックなし
端末情報	装置 ID	(変更されません)
	電力積算値単位 (分)	(変更されません)
	ログ保存期間 (日)	(変更されません)
	ユーザーパスワード	userpw
	Proxy アドレス	(空白)
	Proxy ポート	(空白)
	Proxy ID	(空白)
	Proxy パスワード	(空白)

- ④ セットされた内容でよろしければ、画面下部の[適用]ボタンを押して設定内容を有効にします。

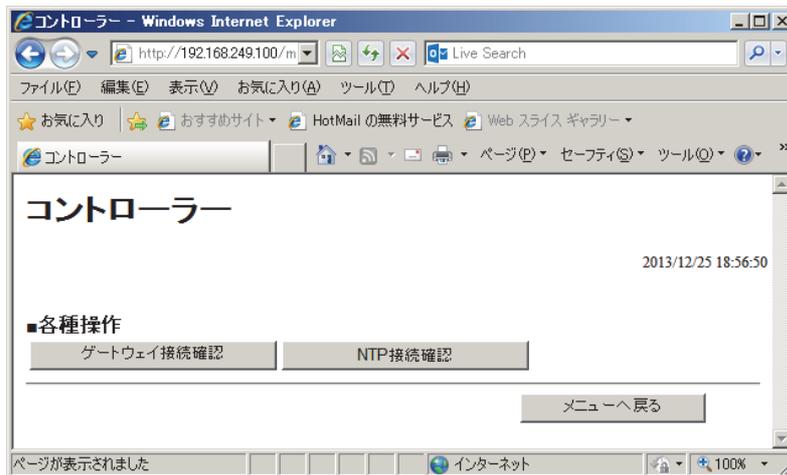
## ⚠ 注意

適用ボタンを押すと本装置が再起動します。再起動中は絶対にブレーカをオフにしたり、ESコントローラーの電源をオフにしないでください。(再起動には約4分間かかります。)

## 12. ホームネットワークに接続ができない時に 通信確認をおこなう

メニュー画面から[各種操作]リンクをクリックして各種画面を表示します。  
ここでは、以下の操作をおこなうことができます。

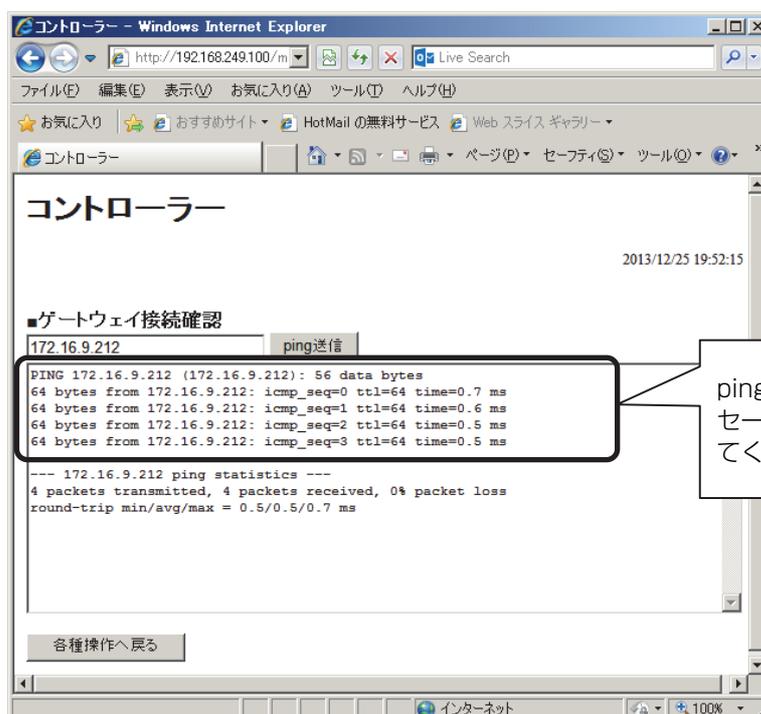
- デフォルトゲートウェイ接続確認
- NTP 接続確認



<各種操作>

### 12.1 デフォルトゲートウェイへの接続確認をおこなう

- ① [ゲートウェイ接続確認]ボタンを押すと、デフォルトゲートウェイ接続確認画面が表示されます。
  - ② 接続確認を行いたいゲートウェイアドレスを入力して[ping 送信]ボタンを押すと、下部のテキストエリアに ping の応答結果が表示されます。
- ※ デフォルトゲートウェイが正しく設定済みの場合、ゲートウェイアドレスがあらかじめセットされています。



<ゲートウェイ接続確認画面>

## 12.2 NTP サーバへの接続確認をおこなう

- ① [NTP 接続確認] ボタンを押すと、NTP サーバへの接続確認をおこない、結果を表示します。接続に成功すると、本装置の時刻が NTP から取得した時刻へ変更されます。

※ プロキシサーバの設定がされている場合、NTP サーバへの接続ができないことがあります。

## 13. LED の表示

本装置の内部には2個の LED が付いています（緑 LED が1個と赤 LED が1個）。それぞれの LED の意味は次の表のとおりです。

LED	点灯	消灯	説明
緑 LED	本装置起動中	正常です	以下のケースで緑点灯します。 ●本装置起動中
赤 LED	本装置起動中、 または異常	正常です	以下のいずれかのケースで赤点灯します。 ●本装置起動中 ●電力測定で異常が発生している場合 （測定異常が発生してから赤 LED が点灯するまで1分程かかる場合があります。正常状態に復帰した際も、赤 LED が消灯するまで2分程かかる場合があります。）

# 14. 困ったときに

## 14.1 ホームネットワークに接続できない

この場合、以下の手順でネットワーク接続の確認を行ってください。

### (1) デフォルトゲートウェイへの接続を確認する

[各種操作]－[ゲートウェイ接続確認]ボタンを押して画面を開いてください。この画面にゲートウェイアドレスがセットされていない時は、ルータとの接続に失敗していることが考えられます。装置設定にて設定した内容に誤りがないか、ルータの状態に異常が発生していないかなどを確認してください。

### (2) NTP サーバへの接続を確認する

デフォルトゲートウェイへの接続を確認できた場合は、[各種操作]－[NTP 接続確認]を実行してください。NTP サーバへの接続に失敗した場合は、ルータから先のネットワーク環境に異常がある可能性がありますので、ネットワーク事業者へ問い合わせてください。

## 14.2 時刻が表示されない

設定ユーティリティ画面右上に時刻が表示されない場合は、URL を確認してください。

http://本装置の IP アドレス/maintain.cgi の後ろにスラッシュ ( / ) が含まれると、時刻が正しく表示されません。

## 14.3 本装置と設定用パソコンの接続方法がわからない

本装置のネットワーク設定を無線 LAN とした場合は、本装置と設定用パソコンを LAN ケーブルで直接つなぎます。このとき本装置の IP アドレスとサブネットマスクは、初期値(192.168.249.100・255.255.255.0)です。

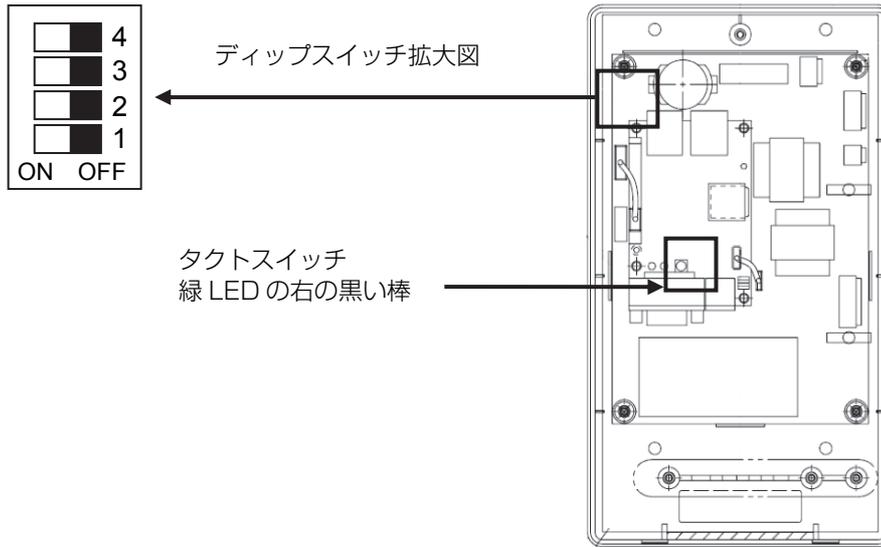
本装置のネットワーク設定を有線 LAN、固定 IP とした場合は、ルータ (または HUB) に設定用パソコンを接続し、設定した IP アドレスへログインします。

DHCP を設定した場合、あるいは何らかの理由により設定ユーティリティへログインできない場合は、以下の方法で本装置の設定を初期化した後、再度「3. お使いになるための準備」から作業しなおしてください。

### <本装置の初期化方法>

- ① 本装置のディップスイッチの 2 番のみをオンとします。
- ② タクトスイッチを上から軽く押します。
  - ※ スイッチを押し続けしないでください。
  - ※ スイッチの操作に対し反応がない場合は、電源を切った後、再投入してください。
- ③ 約 10 秒後、本装置が再起動され、赤 LED と緑 LED が点灯します。
- ④ 約 1 分後、設定変更中であることを示す緑 LED が 5 秒間程度点滅し消灯します。  
(赤 LED は点灯したままです)
- ⑤ 緑 LED が消灯しましたら、ディップスイッチをすべてオフにします。
- ⑥ タクトスイッチを上から軽く押し、もう一度本装置の再起動をおこないます。
  - ※ スイッチが入りましたら、スイッチを離してください。

以上で本装置の初期化は完了です。本装置が立ち上がるまで、お待ちください。



&lt;ディップスイッチとタクトスイッチ配置図&gt;

## &lt;初期化操作と LED 状態の流れ&gt;

操作	赤 LED	緑 LED	説明
ディップスイッチ 2 オン	—	—	初期化設定
↓			
タクトスイッチオン⇒オフ	—	—	リセット
↓ (約 10 秒)			
(LED 変化)	●点灯	●点灯	起動中です
↓ (約 1 分)			
(LED 変化)	●点灯	◎点滅	初期状態に変更しています
↓ (約 5 秒)			
(LED 変化)	●点灯	○消灯	初期化完了しました
↓			
ディップスイッチ 2 オフ	●点灯	○消灯	初期化解除
↓			
タクトスイッチオン⇒オフ	●点灯	○消灯	リセット
↓ (約 5 秒)			
(LED 変化)	○消灯	○消灯	
↓ (約 5 秒)			
(LED 変化)	●点灯	●点灯	起動中です
↓ (約 1 分)			
(LED 変化)	●点灯	○消灯	設定用パソコンによる操作が可能です。
↓ (約 2 分)			
(LED 変化)	○消灯	○消灯	

---

**マクセル株式会社**

〒618-8525

京都府乙訓郡大山崎町大山崎小泉1番地

<http://www.maxell.co.jp>

**マクセルサポートセンター**

**TEL. 0120-977-282**

IP 電話の場合、上記番号が繋がらない場合

**TEL. 03-3432-3188**